

輝く介護

第13号

2007年(平成19年)
11月27日発行

特定非営利活動法人 かまくら地域介護支援機構
連絡事務所 〒247-0061 鎌倉市台2-8-1 台在宅福祉サービスセンター内
TEL0467(46)0788 Fax0467(46)0059
<http://www.kamashien.com> e-mail:jimu@kamashien.com

「小規模多機能型居宅介護」を知ろう！

去る7月10日(火)当機構主催で、平成18年4月の介護保険法の改正によって、新たなサービス体系として創設された「地域密着型サービス」の一つ『小規模多機能型居宅介護』を知ろうと研修会を開催しました。当日は、会場の鎌倉市福祉センターに介護や地域の活動にたずさわの方々86名が参加し、講師 県立保健福祉大学教授 太田貞司氏(鎌倉市地域密着型サービス運営委員会ならびに鎌倉市地域包括支援センター運営委員会委員長)が新宿区の「ほっとステーションららら♪」、練馬区の「ほっと・ハウス・豊玉」、川崎市の「ひつじ雲」など見てまわられた実例をあげての講話に熱心に聞き入りました。ポイントをいくつか紹介します。

[1]小規模多機能型居宅介護(通称「小規模多機能施設」というのは?)

今後、増加が見込まれる「認知症高齢者」や「介護度の高い高齢者」が、できる限り住みなれた地域での生活が継続できるように、在宅ケアの切り札として、昨年、介護保険制度に盛り込まれました。このサービスの最大のメリットは「通い」(デイサービス)を中心に、「泊まり」(ショートステイ)、「ヘルパー」(訪問介護)を、同じ事業所から選べることです。これまでサービスごとに、異なる事業者と契約を交わしていた利用者が、一つの事業者から、よりきめ細かく『臨機応変』な生活支援が得られることになりました。

[2]小規模多機能型居宅介護の現況

WAM-NET(独立行政法人福祉医療機構)の集計によると、3月1日時点で全国の事業者数は506ヶ所、7年前に制度化されたグループホームの広がりと同様な推移で、順調といっているでしょう。制約が多く、収支の採算が取りにくい割には参入の勢いは強いと思われます。しかし内実は、多くの事業所は25人の利用者定員をなかなか集められず、苦戦を強いられています。その理由を聞いてみると「デイサービスやケアマネの抱え込み」、「ケアマネやヘルパーが替わるための利用者、家族の不安」等の声があります。概して、都市部での設置が進み、施設やグループホームの多い地方部には少ないのが実態です。

[3]小規模多機能型居宅介護の今後の課題

小規模多機能型居宅介護は他の在宅サービスと違いケアプランを内部で作るため、一般のケアマネからの紹介者が期待できないなどの運営上の大きな課題があります。そのため、現在利用している方の家族や地域の方々と交流して、絆を深めながら着実に利用者を増やしている施設もあります。一方行政の思惑を超え、「住まい」として使う人が増えていることから、「住宅+小規模多機能型」の施設が設立されており、制度を活用しながら新しいサービス形態が生まれています。全体としては増加の傾向ですが、「収益が得にくい」等により、すでに大型福祉施設を運営する社会福祉法人や医療法人はおおむね及び腰です。経営規範の大きい事業者の参入によるサービス拡大及び多様化等が次の制度見直しに向けての課題といえるでしょう。

※鎌倉市内の小規模多機能型施設 ①花樹かまくら(0467-61-3271)

②まちかどメンバーズ倶楽部・大船(0467-43-5550)

☆ ふあいと山崎の里（2ユニット 定員18名）写真右
静かな住宅地の中にあり、近隣の畑には野菜が育ち、懐かしいのどかな風景が目に入ります。1階と2階の2ユニットとなっています。

壁には入居者の作品も飾ってあり、一日がゆったりと流れ、スタッフも笑顔をもって豊かに接しています。近くの商店街までの散歩、買い物をとても楽しみにされています。



☆ 華花（1ユニット 定員6名）写真左

梶原口のバス停から1、2分のマンションの一角にある華花は、”いつまでもオシャレに”との想いを込めてホームの名前をつけられました。

6名定員のこぢんまりとした中での生活です。入居者は、スタッフとお買い物に行ったり、天気の良い日は屋上に洗濯物を干したり、それぞれのペースで毎日を過ごされています。

◆小規模多機能型居宅介護施設

小規模な在宅系サービスの施設で、高齢者が住んでいる地域の中で、通いを中心としながら訪問、短期間の宿泊などを組み合わせて、食事、入浴などの介護や支援が受けられます。

☆ まちかどメンバーズ倶楽部・大船（定員12名、通所6名、宿泊5名）写真下

閑静な住宅地の一角にあり、住み慣れた我が家を思わせる、温かい家庭的な雰囲気施設の施設です。ショートステイとデイサービスのそれぞれのご利用者が、同じフロアで、馴染みのスタッフと楽しそうに時を過ごされています。スタッフは事前の研修会などでの工夫や話し合いの成果を、デイサービスの活動に生かしています。また、施設での催しに近隣住民の参加を得て、交流を図っています。



☆ 花樹かまくら（定員18名、通所9名、宿泊4名）写真下



「花樹かまくら」は鎌倉駅から英勝寺を経て、みどりに囲まれた静かなたたずまいの施設です。通所、宿泊、訪問介護のサービスのほかに、地域の方とお食事をしながら利用者と地域との交流にも取り組んでいます。園芸療法も始まり、現在造っている庭園の入り口はバラのアーチ、周囲は竹垣、噴水も設けて花いっぱいにするとのこと。

地域密着型 サービス

今後増加が見込まれる認知症や介護を要する高齢者が、できる限り住み慣れた地域で生活が継続できるようにと、平成18年4月の介護保険制度改正により、新たに地域密着型サービスが創設されました。今回は、このうち鎌倉市にある認知症対応型共同生活介護(グループホーム)と小規模多機能型居宅介護の施設について、当機構の介護相談員のレポートを紹介します。

◆認知症対応型共同生活介護(グループホーム)

認知症の高齢者が共同で生活する住居で、食事、入浴などの介護や支援、機能訓練が利用できます。

☆ 鎌倉常盤の家 (3ユニット 定員27名) 写真右

中に入るとまず明るくゆったりとしたパブリックスペースが広がっています。

昼食は週に数回お弁当を取り寄せているそうですが、お弁当が来るまでの間、入居者の皆さんは買い物や散歩に出かけたり、スタッフとお茶を飲みながら歓談したりして、ゆとりのある時間を過ごしています。一人ひとりへの目配りが行き届いていることを感じさせられるひとときでもあります。



☆ 鎌倉由比ホーム (2ユニット 定員10名) 写真左

玄関には、「ゆっくりと一緒に寄り添い 楽しみながら暮らす」「温もりの心で寄り添い ともに歩む」の標示があります。実際、スタッフにも、この理念は浸透しているようで、きめ細やかな見守りと温かい声掛けがほのぼのさを感じさせてくれます。

☆ クロスハート二階堂・鎌倉 (2ユニット 定員18名) 写真右

玄関を入ると「おしゃれで おいしく おつきあい」の標示が目に入ります。

ホームの環境や生活にも、この理念が随所に感じられます。この雰囲気に触れられる訪問が楽しみとなっています。



☆ 虹の家 (1ユニット 定員9名) 写真左

江ノ電稲村ヶ崎駅から徒歩5分、周囲は緑に囲まれ静かな谷戸にあります。開設当初からの入居者が多く、地域の人たちとも顔なじみの関係が生まれている施設です。リビングでは音楽が流れ、ソファでくつろぐ人、編みかけの毛糸もあったり、対面式キッチンで片付けなど、その日の体調に合わせて、明るいスタッフがゆったりとお手伝いしています。

サービス評価委員会

昨年度まで、「介護保険サービス利用者アンケート」を実施してきました。(結果概要は、例年『輝く介護』でご紹介しています。)今年度は、サービス事業者がサービス改善に活かせるように、アンケートの自由記述でいただいたご意見を整理しています。

鎌倉ケアマネ連絡会

今年度から個人登録にしました。昨年度に引き続き、ケアマネ研修手帳を作成し研修記録をつけたり、月例の自主研修会を行ってレベルアップを目指しています。

情報提供委員会

『輝く介護』の発行、ホームページ「介護さーびす・なび鎌倉」の運営を引き続き行っているほか、10月には『医療と介護の地域情報なび かまくら』第2版を発行しました。

医療と介護の地域情報なび かまくら

鎌倉市内の医療と介護に携わる施設や機関の所在地、サービス内容を、地域別に表と地図で紹介。50ページ、2色刷り、1冊500円で頒布中。お問い合わせは当機構事務局まで。

研修・企画委員会

ケアマネジャー資格に有効期限が設けられ、期限終了前の研修が義務付けられたことから、当機構でも県の指定を受け、資格更新のための専門研修と更新研修を実施しています。また、来年3月に市民フォーラムを計画中です。

福祉資源ネット推進委員会

市内のインフォーマルサービスに関する情報を収集し、ネットワークを組んで活用していく仕組みを考えたり、移送サービス事業者との情報交換会等を実施しています。

医療と福祉の地域ケアシステム検討委員会

医療関係者と福祉関係者との顔の見える関係づくりのため、「医療と福祉のネットワーク会議」を開催しています。去る10月18日の会議には138人の方々に参加し、医師を囲んで熱心にグループ討議を行いました。次回は来年2月に開催の予定です。

介護保険サービスの苦情相談室

5人の相談員が、施設を訪問し、利用者の要望や苦情を伺って、施設への橋渡しと、必要に応じて市への報告をしています。今年度は、地域密着型グループホーム6箇所、小規模多機能型施設2箇所を加え、特別養護老人ホーム、老人保健施設を訪問しています。なお、地域包括支援センターが各地域に設置されたため、今年度から、苦情相談室での電話による相談受付は終了しました。

<< 予 告 >>

市民フォーラム

終わりよければすべてよし

～映画とトークのつどい～

* 日時:平成20年3月9日(日)

①10:00 ②14:20

* 会場:鎌倉生涯学習センターホール